

市政を問う

一般質問

9月定例会における一般質問は、8月27日、28日、29日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録をご覧ください。今定例会の会議録は市議会ホームページで11月20日頃から閲覧いただけます。または半田市立図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

不登校児童・生徒の支援体制



創造みらい半田 水野尚美

問 小・中学校における不登校児童・生徒が増えている現状をどのように考えていますか。

答 大変憂慮する事態であり、悩みを抱えている児童・生徒を早期発見、早期対応し、不登校を未然に防ぐ措置が重要と考えています。

問 不登校児童・生徒に対する学習や、その他、学校で体験できる様々な学びの保障をどのようにしていますか。

答 自学自習ができるようプリントなど教材を配付する他、「半田市適応指導教室」や「NP〇法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク」を紹介し、様々な体験活動を通じた学びができるようにしています。

問 人と関わる事や、体験する事を重視した支援体制の充実が必要と考えますがいかがですか。

答 様々な人との関わりや体験活動を通して達成感を高められるよう、新たな居場所の確保や、

児童・生徒の選択肢を増やします。

問 学校と家庭を繋ぎ、児童・生徒の育ちをサポートするスクールソーシャルワーカー(以下SSW)の必要性をどのように考えていますか。

答 近年の児童・生徒に起こる問題は複雑化しており、SSWが担う役割の必要性は高まっていると認識しています。

問 SSWを雇用契約に変更し、1名から数名に増員すべきと考えますがいかがですか。

答 次年度以降は、雇用契約を結び事を決めており、複数体制が望ましいと考えますが、直ちに増員するのではなく、本年度増員した教育相談員などと共に、支援体制の整備や、関係機関との連携強化を図ります。

問 児童・生徒・保護者を支援する人の役割や支援内容が明確に視覚化されているガイドなどが必要と考えますがいかがですか。

答 児童・生徒に関わる様々な職種役割や支援内容が示されたガイドは、より効果的な支援に繋がると考えるため、作成に向けて取組みます。



ごみ問題を問う



無所属 鈴木健一

問 ごみ処理の広域化に伴い、家庭系ごみの有料化が検討されています。家庭系ごみ有料化に向けた地域意見交換会の参加人数は約500人と聞いていますが、それですと十分だと考えますか。

答 計画段階において市民の皆様のご意見をお聞きする場として開催しました。多くのご意見をいただくことができ、成果があったと考えています。

問 今後、市民に向けた説明会が予定されていますが、市民の声は市政に反映してもらえますか。

答 細かい所は変えられませんが、骨子は変えられません。

問 骨子は変えませんが、市民の反対の声が多くても有料化を進めるのですか。

答 進めます。家庭系ごみの有料化はごみ減量効果が少ないと考えられるため、反対ですが、目的は何ですか。

答 「ごみの減量と資源化の推進」「負担の公平性の確保」「財政負担の軽減」の3点です。

問 袋の値段は原価に手数料を足したものと聞いていますが、内訳と法的根拠はなんですか。

答 近隣市町の手数料水準を参考にしようとして、市民の負担割合を、ごみ処理費用の3分の1としました。法的根拠はありません。

問 地方自治法では不特定多数の市民から手数料が取れないことになっていますが、整合性はどうか考えていますか。

答 全国で6割の自治体が手数料を取っているのが大丈夫と考えています。

問 ごみの減量が目的で家庭系ごみを有料化するのであれば、事業系ごみの手数料も値上げは当然と考えますがどうですか。

答 検討します。

問 プラスチックごみ問題になっていますが、半田市での注意喚起など、出来る事をやっていく考えはありますか。

答 半田市民にもごみ減量と資源化の観点で理解と協力を求めたいと思います。



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)